

## 日本地図の地図書き勉強法

今から日本地図の絵をかきます。

まず、日本列島は大きく4つの島に分かれます。

北から、北海道（ほっかいどう）、本州（ほんしゅう）、四国（しこく）、九州（きゅうしゅう）があります。横たわる竜のような形をしています。

「竜のおひれ」は九州です。

九州は昔、9つの国があったので、九州と呼ばれるようになりました。

九州は「9」の字のような形をしています。

九州の上（北）は、本州と隣り合っています。九州と本州の

九州の右（東）には四国があります。

九州の一番上は、福岡（ふくおか）県です。

右（東）に大分（おおいた）県、左（西）に佐賀（さが）県があります。

佐賀の先、一番左（西）には長崎（ながさき）県があります。

長崎は細長く、手裏剣のような形をしています。長崎の南側には雲仙岳もあります。

大分は温泉で有名です。また、九州で一番高い、九重連山があります。

福岡や大分の下（南）には、熊本（くまもと）県と宮崎（みやざき）県があります。

右（東）側、太平洋側に宮崎があります。長い海岸線が特徴です。

左（西）側には、熊本があります。大きな島（天草）と三角形の三角半島（みすみはんとう）が特徴。

熊本は九州の真ん中で、阿蘇山があります。

熊本、福岡、佐賀、長崎で囲まれた海を、有明海と言います。

その外側の海を日本海と言います。

九州の一番南には、鹿児島（かごしま）県があります。

鹿児島は、人の足のような「ふたまた」に分かれています。この海を錦江湾と言います。

錦江湾の真ん中には、桜島という火山があります。

沖縄（おきなわ）県は、九州地方と一緒にされますが、とても離れています。

都道府県が「島だけ」なのは、沖縄と北海道だけです。

「竜の足」は四国です。4つの県があります。

四国は、ゲームのコントローラーのような形をしています。

四国の下（南）半分は高知（こうち）県で、太平洋に面しています。

四国の上側、左（西）半分、九州側は、愛媛（えひめ）県です。みかんが有名です。

四国の残り半分、上右（北東）は、上下に分かれています。

一番上（北）が、うどんで有名な香川（かがわ）県です。大きな橋「瀬戸大橋」があります。その下が、徳島（とくしま）県です。兵庫県淡路島との間の鳴門（なると）海峡が有名です。

「竜の胴体」は本州です。

本州は大きく分けて、北から「東北（とうほく）地方」「関東（かんとう）地方」「中部（ちゅうぶ）地方」「近畿（きんき）地方」「中国（とうほく）地方」という5つの地域に分かれています。

竜の長い首が東北、胴体が関東から中部、腰の「くびれ」の後ろ、お尻が近畿、しっぽが中国地方です。本州の上（北）側の海は日本海、右や下（東や南）は太平洋です。

「竜のしっぽ」中国地方には5つの県があります。

中国地方の南側の海は瀬戸内海（せとないかい）といって、狭いですが、波が少ないので船がよく通ります。

中国は、都から見た「近国、中国、遠国」の中国で、中間くらい、という意味です。

しっぽの一番先が、山口で（やまぐち）県です。三角形のような形をしています。

残りの4県は上下（南北）に分かれます。

上（北）側には、島根（しまね）県と鳥取（とっとり）県です。

「しまねっとり」と覚えます。

下（南）側は、広島（ひろしま）県と岡山（おかやま）県です。

広島は戦艦大和が作られた大きな港があるのが特徴です。

「竜のおしり」は、近畿地方です。2府5県があります。

「府」は、近畿地方にしかありません。

近畿とは、都の近く、という意味です。そのため、昔の都（京都）が真ん中になっています。

近畿地方だけを見ると、左を向いた、恐竜の横顔のような形になっています。

恐竜の上あごが兵庫（ひょうご）県です。岡山と鳥取の右（東）に繋がっています。

瀬戸内海と日本海の両方に面していて、瀬戸内海側には、牙のような淡路島（あわじしま）があります。

兵庫の右（東）には京都（きょうと）府があり、日本海に面しています。竜のくびれの北側で、若狭湾（わかさわん）と言います。

京都の南、恐竜の口角（くちびるの端）に当たるのが、大阪（おおさか）府です。大阪府はとても小さいですが、港があるのでとても栄えました。

大阪の右（東）、京都の下（南）は奈良（なら）県です。奈良も、昔は都だったので、他の県に守られる位置にあります。

恐竜の下あごは和歌山（わかやま）県、首が三重（みえ）県となっています。奈良県を包む形になっています。

左側（西側）が和歌山、右（東）側が三重県です。三重県は「竜のくびれ」に繋がっています。竜のくびれは伊勢湾（いせわん）と言います。

京都の右（東）、恐竜の目の位置になるのが、滋賀（しが）県です。目の形の琵琶湖（びわこ）があります。

「竜の胴体」おなかから背中が中部地方です。9県あります。

背中には真ん中に角が生えていて、おなかには一番右（東）手が生えたような形をしています。また、上（北）方向、首の後ろ側へ長い形で、関東地方と東北地方に接しています。

中部地方は、下（南）の太平洋側、真ん中（山地）、上（北）の日本海側の3列に並んでいます。

下（南）の太平洋側のうち、左（西）側、三重のくびれにつながるのが、愛知（あいち）県です。クワガタのような形の入り江があって、三河湾（みかわわん）と言います。

右（東）側は、静岡（しずおか）県です。右端の「竜の腕」は伊豆半島（いずはんとう）、脇は「駿河湾（するがわん）」と言います。静岡の形だけ見ると、金魚のような形をしています。

腕の北側には富士山があり、それを境に上（北）に山梨（やまなし）県があります。

真ん中の山地には、左（西）側に岐阜（ぎふ）県、右（東）側に長野（ながの）県があります。

岐阜の右（西）の端には関ヶ原という古戦場があり、これより右（東）を関東、左（西）を関西（かんさい）とも呼びます。

長野県の南北には高い山があり、日本アルプスと呼ばれています。

中部地方の上（北）側、日本海沿いは、「竜のくびれから首の裏」まで4つの県が続いています。

もっとも左（西）側、「竜のくびれ」の若狭湾にあるのが、福井（ふくい）県。恐竜が発掘されています。

福井は京都の海岸沿いにつながり、滋賀の上（北）に位置します。

福井の右（東）には、上下に細長い石川（いしかわ）県があります。日本海に突き出ている、竜の背中のようになっています。この半島を能登半島（のとはんとう）と言います。

石川の右（東）、角の付け根は富山（とやま）県です。石川・富山は岐阜県の上（北）になります。

富山の右（東）が、上下（南北）に長い新潟（にいがた）県です。日本海側には佐渡島（さどがしま）が浮かんでいます。石川の角から発射したミサイルのような位置です。新潟は米の名産地です。

「竜の胸元」にあたるのが、関東地方です。1都6県があります。都はここにしかありません。

胴体の前半分であり、一番右（東）には「竜の足」のような大きな半島があります。

左（西）側の小さい1都2県、右（東）側で太平洋に面している2県、北側で陸に囲まれた2県で覚えます。

小さい1都3県のうち、一番南で太平洋に面しているのが神奈川（かながわ）県です。中部地方の「竜の腕（伊豆半島）」、静岡と繋がっています。広い砂浜（湘南）と小さな三浦半島（みうらはんとう）が特徴です。伊豆半島と三浦半島の間を、相模湾（さがみわん）と言います。

神奈川の上（北）が東京（とうきょう）都、その上が埼玉（さいたま）県です。東京は関東で最も小さいですが、一部海に面しています。

「竜の足」のうち、南側が千葉（ちば）です。左（西）側は東京・埼玉から続いています。千葉の半島を房総半島（ぼうそうはんとう）と言います。

千葉の上は茨城（いばらき）県です。納豆で有名な水戸があります。太平洋に面した長い海岸と突き出た港・銚子、日本で2番目に大きい霞ヶ浦（かすみがうら）が特徴。

埼玉の上（北）が群馬（ぐんま）県で、最も奥地にあります。

群馬の右（東）、茨城の左（西）と挟まれているのが、栃木（とちぎ）県です。

海がある茨城には「<sup>^</sup>」がなく、海のない栃木には「<sup>^</sup>」があります。

「竜の首」東北地方には6県があり、本州の一番上（北）にあります。北から、1・2・2・1の順番で並んでいます。一番下の福島、下から2段目の山形は、中部地方（新潟）と接しています。

一番上（北）が、青森（あおもり）県です。ここも大きなクワガタみたいな形をしています。右側のオノの形が下北半島（しもきた）半島で、本州の一番北になります。反対側が津軽半島（つがるはんとう）、その間の海を陸奥湾（むつわん）といいます。

青森の下（南）が、秋田（あきた）県と岩手（いわて）県です。

日本海側（右・西）に男鹿半島（おがはんとう）が突き出ているのが秋田。男鹿半島はナマハゲが有名。太平洋側（右・東）でゴツゴツした海岸線が岩手です。

さらに下（南）が、山形（やまがた）県と宮城（みやぎ）県。

右側（西、日本海側）で中部地方と接しているのが山形。周りが県境（つまり山）に囲まれてるから、山形です。

左側（東、太平洋側）が宮城で、上（北）の岩手から続くゴツゴツした海岸線と、仙台湾のなめらかな海岸が特徴。鳥のくちばしのような半島は牡鹿半島（おしかはんとう）で、秋田の男鹿半島と似てる。

「竜の頭」に当たるのが、北海道。五畿七道（ごきしちどう）にならって、付けられた。

頭の付け根のひょろっこい形と、上（北）、右（東）の角や四角形が特徴。

下（南）の青森との間の海を津軽海峡（つがるかいきょう）といいます。

一番北の角の先端が宗谷岬（そうやみさき）、南の先端が襟裳岬（えりもみさき）、右（東）の2本の角は、上（北）から知床半島（しれとこはんとう）、根室半島（ねむろはんとう）。

頭の後ろの角が積丹半島（しゃこたんはんとう）。それに続く曲がった形が渡島半島（おしまはんとう）。

これで、日本地図の出来上がりです！